

暑中見舞いの歴史

今では当たり前を送られている「暑中見舞い」形は違えどもその歴史は、江戸時代以前にまでさかのぼります。

かつて、一年を二期と考えていました。その始まりが正月と盂蘭盆会（うらぼんえ：お盆の正式名称）だったそうです。そして、人々は期の感謝をするのです。これはとても重要なことだったようで、江戸時代では、武家仲間から親戚関係、更に近所の家まで毎日まわり続けた人もいたそうです。

身分制度がしっかりと根付いていた時代。でも、さすがに遠方の方を訪問するのは難しいので、飛脚便などを使って書状を送ったのだそうです。

この習慣が、明治維新後の明治6年、日本のはがき郵便配達が始まったのを機に、遠方の方以外にも挨拶状を送るという習慣として広がりました。そしていつからか、年賀状や暑中見舞いへと変化を遂げ定着したそうです。

年賀郵便の制度が始まったのは、明治39年。暑中見舞いが習慣として広がったのは、大正時代になってからだそうです。



暑中見舞いを出す時期

暑中見舞いは、「一年で最も暑い「大暑」の時期に、お互いの状況や健康を気遣うためのものとされています。「小暑」7月7日から「立秋」8月8日の前日までに出すのが基本ですが、現在では梅雨明けから夏の土用（今年は7月22日）あたりまでに出すのが一般的になっています。

ちなみに立秋を過ぎると残暑見舞いに変わりますが、残暑見舞いも8月中に出すのが基本です。

手紙を出しましょう

現在では、暑中見舞いという習慣さえ無くなりつつあるように思います。

インターネットや携帯電話などの普及により、手紙という長く受け継がれてきた文化ですら消滅へと足を踏み入れているように思います。

機械化された現代だからこそ、文字の暖かさの伝わる手紙を出すと相手の方に喜ばれるんだと思います。

お楽しみの当選発表

今年のかもめーるの当選番号発表は9月2日（月）です。

A賞 現金5万円

当せん本数 約 2,396 本（10万本に1本）

B賞 切手シート

当せん本数 約 479,200 本（1000本に2本）

かもめーるが届いた方は楽しみにお待ちください。

かんたんレシピ

なす南蛮

＊材料＊

なす	小3本
★しょうゆ	大さじ1
★砂糖	大さじ1
★酢	大さじ1
小麦粉	少々
ねぎ	少々



①なすは乱切りにして水にさらしておきます。

★印の調味料を合わせておきます。

②なすの水気を拭いて小麦粉をまぶし、熱したフライパンに油を入れて、しなっとなるまでよく焼く。

③弱火にし、合わせておいた調味料を入れる。

※焦げやすいので必ず弱火でしましょう。

④とろみがついたら火を止めてできあがり。

仕上げにねぎを散らします。

揚げないのでとても簡単！鶏肉と一緒に炒めてもおいしい！！

網戸は右側！？



お部屋の窓を開けて空気の入替えを…。
右？左？どちらの窓を開けていますか？
網戸にしているはずなのに蚊が入ってくる！そんな
ことはありませんか？
知らなかった…網戸に「閉め方」があるなんて…。

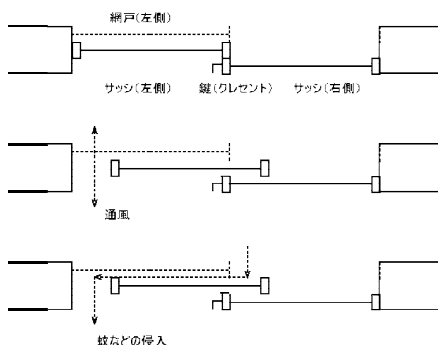
全ての「引き違い窓」はサイズ、メーカーを
問わず、向かって右側が部屋の内側に、左側
が外側に重なります。だから、右側に網戸を
セットしておかないと窓と網戸の間に隙間が
できて、隙間から虫が入ってきてしまうとう
訳なのです。



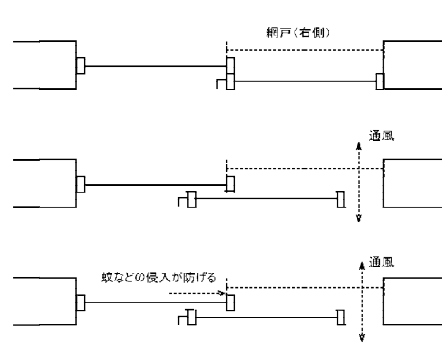
左側でも全開なら大丈夫。。。？ですが、外側の窓
に虫がひっついていたら、閉めた時に窓と網戸の
間に虫が閉じこめられてしまいます。
次に窓を開けた時に、虫が室内に侵入してしまう
という訳なのです。もちろん、穴があるとそこら
から侵入してしまいますので、網戸の張替はきちん
としてくださいね。

窓を開けて過ごす時は出来るだけ右側を開けて網
戸を有効に使いましょう。

【左側の場合】



【右側の場合】



四字熟語パズル

四字熟語が4つバラバラになって
いるので、正しい四字熟語を4つ
作ってください。

門	紆	事	余
裕	外	綽	根
実	無	曲	々
不	折	出	余

①

②

③

④

抽選で粗品
プレゼント!!

先月号のこたえ

- ①器用貧乏
- ②表裏一体
- ③三日坊主
- ④五風十雨 ↓

農作物に都合の良いように、
5日に一度風が吹き、10日
に一度雨が降ること。

－ 四字熟語パズル応募方法 －

①名前 ②住所 ③電話番号④「かとけん通信」の中で興味のあった記事、ご意見、
ご感想など。⑤四字熟語を4つ①～⑤をご記入の上 FAX かメールにてご応募下さい。
FAX 22-2133 ☒ hirose@kato-const.jp お電話でもOKです！

社長よりひとこと

「そうだな海へ行こう」と叫びたいくらい暑い日が続いています。今年は2010年の猛暑を上回るかも知れません。こんな暑い夏は、お風呂にフカスシャワーだけという方も多いと思いますが、出来れば38℃くらいのぬるめのお湯にフカたほうが疲れはとれます。私も先日、身体がだるく食欲もなくなるという熱中症の症状がでました！体力がないと暑い夏は乗り切れません。レックリ食べて、レックリ休む。そのために毎日頃から、こまめに水分・塩分を補給することが大切で、それより節電よりも命が大切だということをお忘れなく。エアコンをかく使って下さい(笑) 加藤 淳



都市ガスリフォーム
専門店

かとけんホーム

福知山市北本町二区30-1 加藤建設(株)



ホームページ
社長ブログ

0120-24-1900

かとけんホーム

かも社長

検索

検索

